

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
トータルビューティー科	3学年	美容学科	必修	90	3.0	○	講義	演習	実習実技
							○		
授業の概要	美容学科基礎理論を学ぶ事によって、美容知識の理解を高め、国家試験合格につなげていく。								
学習目的	科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。								
教科書	日本理容美容教育センター「関係法規・制度」「衛生管理」「化粧品化学」「文化論」「運営管理」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回) 第3回	法制度の概要	法が必要とされる理由や特徴・種類など法の役割について学ぶ 衛生行政の目的を理解し、国と地方が行なう行政の関係を学ぶ 衛生行政の種類と、それらを所管する機構と内容について学ぶ 理容師法・美容師法の考え方、仕組み、規制を理解し、理容師・美容師が適性に理容・美容の業を行うために必要な事を学ぶ 理容師法・美容師法で特に必要だと思われる用語を学ぶ 理容師・美容師の養成、試験、免許の仕組み、等について学ぶ 理容師・美容師及び理容所・美容所を経営する場合に必要な法律について学ぶ	
第4回) 第12回	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義を学び、我が国の公衆衛生を知る。公衆衛生を知り、出生率、死亡率、乳児死亡率、平均寿命。予防医学の目的と意義を知る。母子保健と統計について学ぶ。生活習慣病とその対策を知り、健康日本21の概要を理解させる。日本の医療、保険制度について理解する。家庭、学校、事業所、営業施設、公共団体による公衆衛生。衛生害虫の被害や駆除の方法を知る。公害についての理解を深める。感染症の発見や人物を理解する。感染症の制定や分類を学ぶ。客、従業員を通しての感染症伝播の危険性を知る。細菌の増殖と環境の影響を理解する。微生物の病原性と汚染、感染及び発病について学ぶ。	
第13回) 第22回	基礎化粧品の概要	日本の医療、保険制度について理解する。環境の自然や人々の健康に及ぼす影響を知る。細菌の増殖と環境の影響を理解する。客、従業員を通しての感染症伝播の危険性を知る。化粧水 クリーム・乳液 ベースメイクアップ化粧品 ポイントメイクアップ化粧品 シャンプー剤 スタイリング剤 パーマ剤 ヘアカラー製品 芳香製品 特殊化粧品	
第23回) 第25回	文化論の概要	日本の理容業・美容業も歴史 ファッション文化史日本編 ファッション文化史 西洋編 婚礼の種類	
第26回) 第30回	運営管理の概要	経営の進め方や経営の原理 理容業・美容業と労務管理 理容業・美容業と人事管理美容業と社会保障制度労務管理に関する知識 なぜマーケティングを学ぶのか・マーケティングの基本的な考え方 マーケティング戦略・競争とポジショニング 顧客満足経営とはどのような経営なのか売上志向から顧客志向へ	

到達目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
トータルビューティー科	3学年	美容実習	必修	420	14	○	講義	演習	実習実技
							○		○
授業の概要	国家試験課題の構成を習得して合格し、就職した際の即戦力になるように巻き方他、形の確定する。								
学習的	国家試験のタイムに合わせて衛生の道具と一緒に練習する。								
教科書	理容師美容師試験センター「実技課題集」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回 ） 第15回	ブロッキング・ワインディング	1年次の見直し、巻き方(上巻き・下巻き・ラウンド巻き・サイドの巻き方)	
第16回 ） 第30回	国家試験第2課題 ワインディング	ブロッキングの短縮、時間設定しながら全頭巻きをする	
第31回 ）	国家試験第2課題 衛生道具の手順	作業を行う前に使用する用具類等の規格適合を理解する	
		用具類の品目、数量確認	
		用具の衛生状態	
		用具類の収納状況	
		用具類の血液付着状況	
第45回	国家試験第2課題 ワインディング	用具類の落下状態の対応	
	国家試験第2課題 ワインディング	衛生面と反復練習(タイム管理・見直し)	
第46回 ） 第55回	国家試験第2課題 ワインディング・シミュレーション	全体の見直し	
		シミュレーション1回目	
		シミュレーション2回目	
		シミュレーション 3回目	
		最終見直し	
		最終チェックと国家試験注意点	
第56回 ） 第73回	オールウェーブセッティング	ウェーブとピンカールの復習 両サイドウェーブ作成	
		反復練習と見直し	
		リフトカール技術の一例 ストランドの角度 ピンニング(片面打ち)	
第74回 ）	オールウェーブセッティング	メイポールカール技術の一例 ベースをとるストランドカール ピンニング(クロスピンニング)	
		クロッキノールカール技術の一例 ベースをとり根元から巻くフラットカール ピンニング(両面打ち)	
		完成させる	
		ウェーブとカールの強化 反復練習と見直し	

		時間管理 国家試験タイム25分	
第93回		ウィッグ作成 カール部分にパーマメントウェーブの施術	
第94回	国家試験第2課題オールウェーブ ブSETTING 衛生道具の手順	作業を行う前に使用する用具類等の規格適合を理解する	
		用具類の品目、数量確認	
		用具の衛生状態	
		用具類の収納状況	
		用具類の血液付着状況	
		作業時のモデルウィッグの顔面拭き取り	
第113回		衛生面と反復練習(タイム管理・見直し)	
第114回	国家試験第2課題 オールウェーブシミュレーション	シミュレーション 1回目	
		シミュレーション 2回目	
		シミュレーション 3回目	
		最終見直し	
第123回		最終チェックと国家試験注意点	
第124回	国家試験第1課題 カッティング	ブロッキングを理解し、正確に取る	
第125回		シェープの仕方、立ち位置を理解する	
第126回		ブロックごとに切り方を理解する	
第127回		毛髪の長さ、ヘムラインのつながり、カットライン(切り口)のつながり、左右シンメトリーを理解する	
第128回	国家試験第1課題 カッティング・シミュレーション	作業を行う前に使用する用具類等の規格適合を理解する	
第129回		用具類の品目、数量確認	
第130回		用具の衛生状態	
第131回		用具類の収納状況	
第132回		ウィッグ等の血液付着状況	
第133回		作業終了時のモデルウィッグの顔面拭き取り	
		シミュレーション 1回目	
第137回		シミュレーション 2回目	
第138回		衛生面と反復練習(タイム管理・見直し)	
第139回		全体的見直し	
第140回		最終チェックと国家試験注意点	

到達目標	国家試験課題 しっかり構成と正確さをしっかり身に付ける
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
トータルビューティー科	3学年	総合実習	必修	300	10	○	講義	演習	実習実技
							○		○
授業の概要	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、ビジネスコミュニケーション全般を学ぶ。								
学習的	ビューティ・ビジネスの役割、必要な知識やスキルについて理解する。また、サロンにおける自分のキャリアプランを考えるきっかけを与える。								
教科書	ビューティビジネス実務検定試験公式テキスト オリジナルテキスト 日本ネイリスト協会～フットケア～ 理容美容教育センターまつ毛エクステンション 日本理美容教育センター「保健」「美容技術理論」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回 ～ 第4回	保健の概要	頭部、顔部、頸部の体表解剖学 骨格器系 筋系 神経系 感覚器系 血液・循環器系 呼吸器系 消化器系 皮膚の構造 皮膚付属器官の構造 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
第5回 ～ 第15回	美容技術理論の概要	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術に必要な人体各部の名称 美容用具 シャンプーイング ヘアデザイン ヘアカットイング パーマネントウェービング ヘアセッティング ヘアカラーリング	
第16回 ～ 第20回	ネイル理論	ネイルケアの基礎 ジェルネイル基礎	
第21回 ～ 第25回	美容業界とビジネススキル	サロンで働く職業人としての心構えを作る。ホスピタリティを発揮する ビジネスコミュニケーション サロン内のコミュニケーション 接客の基本と電話の受け方・かけ方	
第26回 ～ 第30回	サロンのメディア活用	ITの基礎知識 メディア活用の留意点 ホームページの役割と集客 SNSの活用 サロン業務へのパソコンの活用法を考える。	
第31回 ～ 第40回	ビューティ・コーディネーターとサロンオペレーション	ビューティ・コーディネーターに必要な能力について考える。一日の基本業務について、全体像を掴む 美意識をコーディネートする ファッションを理解する	
第41回 ～ 第48回	美容基礎理論模擬試験	美容の基礎理論を学ぶ。過去問題をやり、解答解説をする。	
第49回 ～ 第54回	HP開設について	サロン実習に向けて集客用のHP開設 解説にあたってのプログラミング	
第55回 ～ 第59回	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	ホスピタリティとは何かを学ぶ	
第60回 ～ 第62回	サロン内のコミュニケーション	日常のコミュニケーションの基本を身に付ける	
第63回 ～ 第65回	接客の基本と電話の受け方・かけ方	聴き方と話し方の基本、電話対応の基本を学ぶ	
第66回 ～ 第70回	学生サロン	一般のお客様をモデルとし、サロンワークを行う	
第71回 ～ 第75回	フットケア理論	フットケア概要 足の構造と名称 皮膚科学 整理解剖学 足のトラブル 爪や皮膚の病気とトラブル 衛生管理と消毒法 フットトリートメント理論 フットカウンセリング	

第76回 ） 第79回	フットケア技術	用具・用材ち使用目的 フットケアのステップ 基本的なセッティング ポリッシュオフ・ジェルオフ、ファイリング、クリーンアップ 角質の手入れ フットトリートメント 足首、膝下まで フットトリートメント前のオープ ション スクラブ ピーリング マスク	
第80回 ） 第86回	まつ毛エクステンションとは	まつ毛エクステンションの用具 衛生管理 保健 カウンセリング 技 術	
第87回 ） 第100回	美容実習 シュミレーション	国家試験内容 美容技術復習シュミレーション	

到達目標	ビューティビジネス実務習得、 フットケア理論習得 まつ毛エクステンション習得		
成績評価	期末試験 単位認定60点以上		
備考			